

インド北東部 インパールとコヒマのいま -人々の暮らしと祭礼-

地球の旅人 東苑泰子

<講演要旨>

インド北東部にあるインパールとコヒマは、それぞれマニプリ州とナガランド州の州都である。ミャンマーとの国境地帯で、様々な少数民族が住んでいるが、交通事情が悪いため観光客が訪れる機会は少なく、彼らの暮らしはあまり知られていない。しかし、第二次世界大戦中、日本軍と連合軍が死闘を繰り広げたこれらの町では、当時の日本兵の存在が現地の人々に記憶され続けている。本講演では、数年前に現地を訪れた体験を基に、両地の伝統文化や町の風景をご紹介します。

山に囲まれた盆地にあるインパールでは、メイティ族のご尊老の自宅兼ゲストハウスに滞在しながら、親戚が集まる行事やご近所さんの結婚式、季節の祭りに参加させてもらった。山沿いのコヒマでは、乗合いバスで偶然に隣り合わせたナガ族の若い母親のアパートで世話になり、ナガランドの諸部族が一堂に会する文化祭「ホーンビル・フェスティバル」を堪能できた。そのような現地の様子を私自身が撮影した写真とビデオ映像をお見せしながらお話しする。

<上映順序>

インパール

- 1 毎年 9, 10 月に各家族で行われるメイティ族の先祖の祭り
- 2 メイティ族の結婚式
- 3 ヒヤンタン寺院の秋祭り
- 4 インパールの町の風景、旧王宮、中央市場など

コヒマ

- 1 ナガ族のホーンビル・フェスティバル
戦士の踊り
渡り鳥（アムール・ファルコン＝アカアシチョウゲンボウ）の踊り
昔の散髪の様子
その他
- 2 コヒマの町並み、市場
- 3 コノマ村の様子

<参考資料 インパール>

1 タルポン 先祖を祀る 2018 年 10 月 7 日 於インパール



先祖を象徴する人形とお供えもの（10 ルピー新札、お花、お菓子など）



ひとりずつ先祖に一礼し、10 ルピーのピン札を供える。



親族一同の会食が式の締め括り。男女は別々に座る。ステンレス盆の真ん中にご飯が盛られ、その回りを野菜のおかずが囲む。食事中も次々に盛り足され、品数が 20 に達することもある。

2. 結婚式 2018 年 10 月 22 日 於インパール



花嫁の実家で。支度中の花嫁と一緒に記念撮影。



前庭で式が執り行われた。「クジャバ・ブンバ」と呼ばれる儀式では、花婿と花嫁が右手を結び合う。参列者たちが 10 ルピーの新札を持って次々と挨拶する。



「レイ・コイバ」の儀。巫女に先導された新婦が新郎の回りを 7 周し、新郎に花びらを振りかけて祝福する。

3. ヒヤンタン寺院の秋祭り 2018 年 10 月 16 日 於ヒヤンタン村



ヒヤンタン寺院正門入り口。インパール中心から南へ 10 キロのヒヤンタン地域、メイテイ族の土俗の女神が祀られている代表的な寺院がある。ここで履物を脱いで境内へ入る。



参拝人たちが本堂内の女神に、花やココナツや紙幣を捧げているところ。



本堂の前庭で各地域のグループが、一晩中入れ替わりで唄を奉納。

<参考資料 コヒマ>

1 ホーンビル・フェスティバル 2017年12月3日 於キサマ村



戦士の踊りを再現

2 マオ市場 2018年9月14日 於コヒマ



世界一辛い唐辛子、蜂の巣、芋虫、発酵タケノコなど、野趣溢れる食材が並ぶ。

3. コノマ村の一風景 2018年9月22日 於コノマ村



農作業を終え一日の収穫物を背中の籠に入れて帰るところ。



インパール

中心部にある中央市場、イマ・バザール。
イマは母の意味、売り子は既婚女性に限られる。



旧王宮の戴冠式ホール。ちょうど秋祭りの季節で、
ホール前の特設ステージで伝統舞踊が披露されていた。



コヒマ

山の斜面に沿って広がるコヒマの町では、家から大
通り
まで急な坂を上り下りするのが日常。